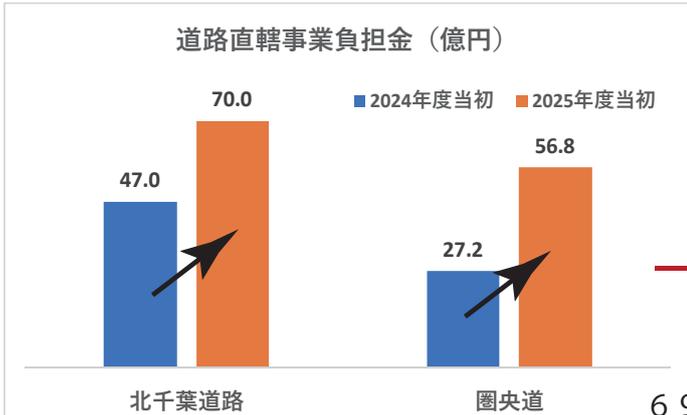


2月県議会 当初予算

「暮らし」より 「不要不急の大型開発」優先が加速

知事提案の2025年度当初予算が自民、立憲、公明、国民民主などの賛成多数で可決・成立しました。日本共産党は反対。丸山慎一県議（写真右）が討論しました。一般会計当初予算（骨格）の総額は2兆1041億5千万円。知事選があるため、新知事が6月議会で1千億円程度の補正（肉付け）をおこなう予定です。



巨道路は「聖域」

舗装道路修繕費
79億円⇒57億円
交通安全対策費
69億円余が3分の1に減



過大な見通しにもとづく

過大な事業の根本的な見直しを求めます

特別会計 土地区画整理事業 (柏北部中央地区)

計画人口	26,000
現在の居住人口	13,700
1年間で増えた人口	300

運動公園周辺地区の今の居住人口も計画人口の4割弱です。県は「人口は上回る」と強弁していましたが、「一概に言えない」と達成できない可能性を認めています。



加藤 英雄
(柏市)
総務防災常任委員



みわ 由美
(松戸市)
健康福祉常任委員



丸山 慎一
(船橋市)
県土整備常任委員



浅野ふみ子
(市川市)
文教常任委員

特別会計 港湾整備事業

千葉港長期構想にもとづく埋め立てに1億6900万円を計上。同構想は、2013年を起点にして、2047年には千葉港の貨物量が大幅に増える前提で埋め立てなどにより港を拡張しようというものです。しかし、総貨物量は、2023年度1億2623万トンで前年より1038万トンも減っています。県は「将来を見通すのは難しい」としています。根拠もなく莫大な税金を毎年つぎ込んでいます。県民の納得は得られません。

特別会計 流域下水道事業

2025年度からの市町負担金の値上げ分19億3112万円が反映。住民などの下水道利用料金に転嫁されることは必至です。江戸川左岸流域下水道の処理水量は、当初計画一日あたり108万m³から52万4千m³に半減しています。